



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

継続は力なり。
何事でも行い続けている時に、必ず浮かぶ言葉である。
しかし、なかなかこの継続力が続かないもの確かである。
特に総理大臣が続かない。
大臣が続かない。
日本の代表が次から次へと変わってしまう。
よくこれで政府が機能できるものだ。
言い方を変えれば、総理大臣や各省の大臣なんか必要ないのではないだろうか。
建前として置いておかないといけないレベルぐらいなのではないだろうか。
もちろん、本人達は頑張っているつもりだろうが、大臣という名だけでは限界があるだろうし、
そもそもお飾り状態なのだからどうしようもないはずである。

今ひとつピンと来ないのは、大臣の役職が転々とする事だ。
経済大臣だと思えば、次は外務大臣。
どうしてひとつの役職を全うできないのか。
コロコロ変わってばかりいると、コロコロ大臣と言われても仕方がない。
それぞれ大臣は適材適所に決めています。
一体何を基準に適材適所なのか、さっぱり、わからなくなる。
いくら責任感を持って国の代表者に選ばれたとしても、蓋を開けたらできませんでしたじゃ無責任な人になってしまう。
まあ、政治家になる人達も初めはやる気満々であっただろうが、
続けていくうちにいろいろと限界を感じてしまうのだろう。

でも周りからは「先生、先生！」とチヤホヤ呼ばれて、どうしても格好を付けざるをえない。
でも本質はそれ程、大した事がない。
やる気が出て、気持ちだけ空回り。
そう考えると、今の時代はいくら優秀な人間が出てきたとしても、何も変える事ができないのかも知れない。
少しでも無理だと思ったら、すぐ方向転換。
すぐ投げ出して、誰かにバトンタッチの責任パス。
平成の時代。
継続ができない時代。継続しようとしらない時代。
美味しいところだけピンポイント。
ご都合主義。
これではこの国は強くなれない。
ましてや、やさしくもなれない。
政治家だけではない。
我々、国民全体が継続できなくなっているのだ。
継続ができないと何も作れないし、何もできない。
生きている事自体、継続であり力なのに、それに気付いていない。
そう言えば、我々は何を継続しなければならないかを書いていなかった。
それは決めた事をできるまで継続する気持ち。
時には自分に負けそうで、逃げ出したくなる時もあるだろう。
それでもいつかは達成する！と言う信念を持ち続けなければならないのだ。
日本よ、コロコロ変わるな！
継続は力なり！
いずれ強く、やさしい気持ちのある国にする為に。



佐々木